



Library News & Topics



愛国学園短期大学
Aikoku Gakuen Junior College

Vol. 50 (2021年11月1日発行)
愛国学園短期大学図書館運営委員会



後学期の授業が始まり、1ヶ月が経ちます。コロナ感染者数は減ってきましたが、油断ができない日常生活がなお続きます。

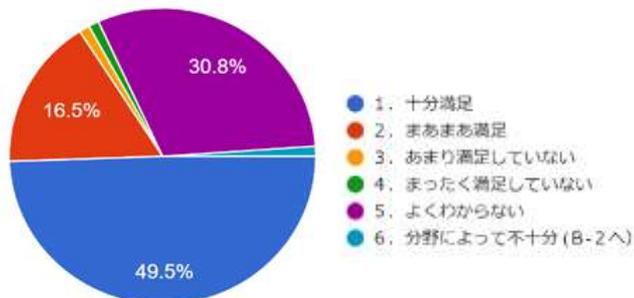
さて、2009年6月1日からスタートした図書館だよりも、本号で50号となりました。この12年間に、図書館も様々変化してきました。

2015年7月には小川文庫が増設され、2016年7月には図書館がリニューアルし、2017年2月には、龍野文庫が増設されました。今後も図書館は進化していきますので、ご期待下さい。

◇図書館利用者アンケート結果報告◇

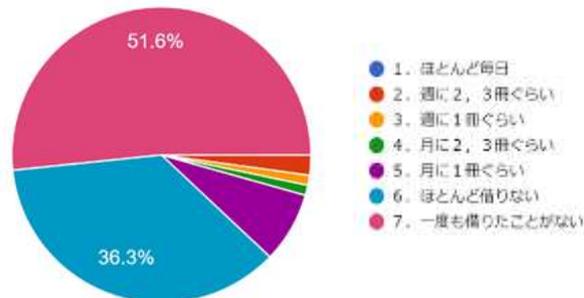
昨年までは、用紙を配布し学生の皆さんにはペーパーベースによるアンケートに回答をして頂いていましたが、今年度からWebアンケートに変更いたしました。回答してくれるかとても不安でしたが、皆さんが数多く回答して下さいととてもうれしく思っております。ご協力ありがとうございました。アンケート結果をご報告します。

Q：本学図書館の蔵書(所蔵している図書)についてあなたの満足度はどのくらいですか。



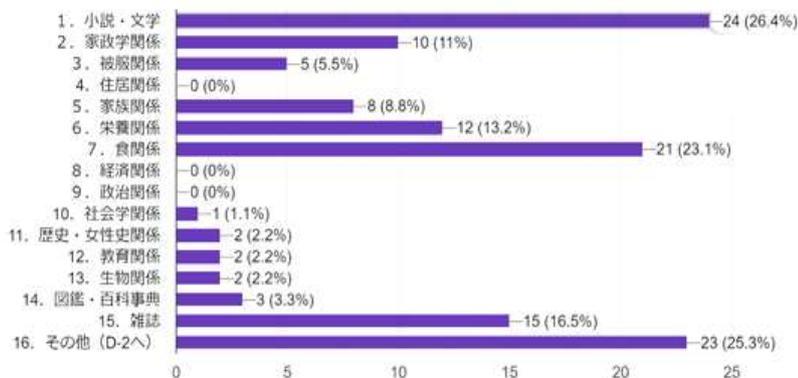
A：「十分満足 49.5%」と「まあまあ満足 16.5%」の合計が約 62.4%との結果になりました。「よくわからない 30.8%」を選んだ皆さんがわかるように、色々な工夫をして満足していただけるよう心がけます。

Q：あなたは本学図書館の蔵書をどのくらい借りますか。



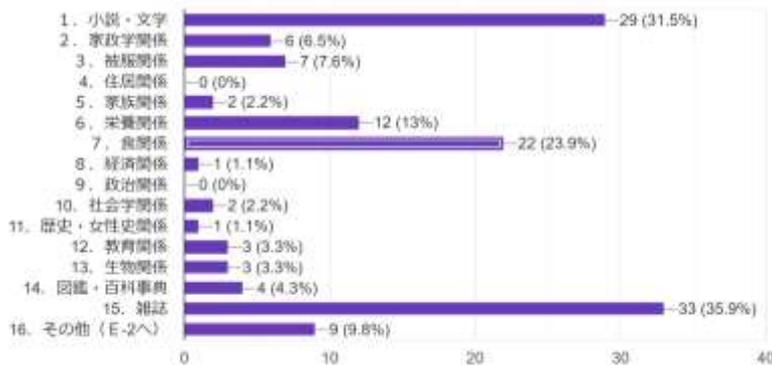
A：「ほとんど借りない 36.3%」と「一度も借りたことがない 51.6%」の方が、全体の 87.9%を占めています。皆さん、もっと本に触れ、本を読みましょう。

Q：あなたが今までに利用したことのある図書は下記の中のどのジャンルの本ですか。



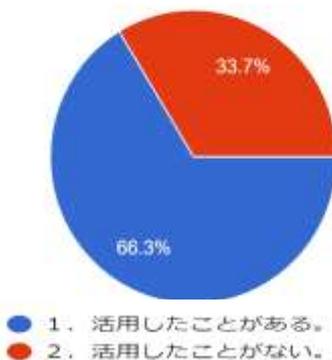
A.小説・文学や食関係、栄養関係分野などが多く、レポートや課題作成に利用されたと想像されます。経済関係や政治関係は、利用した方はいなかったようです。その他では、秘書検定など検定系の本を借りている方が多いという結果でした。

Q: あなたが、本学図書館に今後増やしてほしいと思う本は、どのジャンルの本ですか。



A. 昨年同様、小説・文学、食関係、栄養関係、雑誌が多く、この分野に対する向上心が定着していることがうかがえます。今年度は具体的な記述には、YouTube系、スポーツ系などの要望をいただきました。出来るだけ皆さんの要望に応えられるよう購入したいと思います。

Q. 仲間と一緒に楽しく学べるスペース（アクティブラーニングスペース）を活用したことがありますか。



【アクティブラーニングスペースの活用方法についての学生意見】

・十分に満足している。(12件)・Wi-Fiが繋がるといい。(3件)・今の状態でも活用しやすい。(3件)・ご飯を食べれるようにしてほしい(2件)・机が小さいです(2件)・もっと広くて開放的な感じだといいい。(3件)・密を避けるために、みんなで入れるような、スペースがあつたらいい。(2件)・イスがありすぎて狭いので少し減らしたらいいと思います！(2件)・テレビや映画が見られたりするといいと思いました。(1件)・イスをソファーにしてほしい。(1件)

Q.その他、本学図書館に対する要望等があれば入力してください。

・静かに学習を取り組めるようにしてほしいです。

(回答) 奥の書架は、個々に静かに学習できる場所としています。奥を利用してください。学習に支障がある場合はいつでも声をかけて下さい。カウンターのある部屋は、皆さんで話し合いながら学習を進める場所としています。ご理解ご協力お願いします。

・コピー機がいつでも使えると嬉しいです。

(回答) コピーをしたい場合には、事務局又は図書館までお申し付け下さい。

・奥の部屋が集中できて良いのですが、夏に冷房が効かないことがありました。

(回答) 季節ごとに確認はしていますが、効きが悪い時は、いつでも声をかけて下さい。

・『食』の本を増やしてほしいです。

(回答) リクエストの書籍がありましたら、図書館までお申し付けください。

多数のご意見をありがとうございました。

誰が引き金を引いたのか？

新着図書



「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、著者渾身の傑作ミステリー

パリ大学で美術史の修士号を取得した高遠冴(たかと おさえ)は、小さなオークション会社 CDC(キャビネ・ド・キュリオジテ)に勤務している。週1回のオークションで扱うのは、どこかのクローゼットに眠っていた誰かにとっての「お宝」ばかり。高額絵画取引に携わりたいと願っていた冴の元にある日、錆びついた一丁のリボルバーが持ち込まれる。それはヴィンセント・ファン・ゴッホの自殺に使われたものだという。「ファン・ゴッホは、ほんとうにピストル自殺をしたのか?」「殺されたんじゃないのか?.....あのリボルバーで、撃ち抜かれて。」ゴッホとゴーギャン。生前顧みられることのなかった孤高の画家たちの、真実の物語。